

ART

2026 アート・レクチャー

LECTURE

10.9 fri

組踊と首里



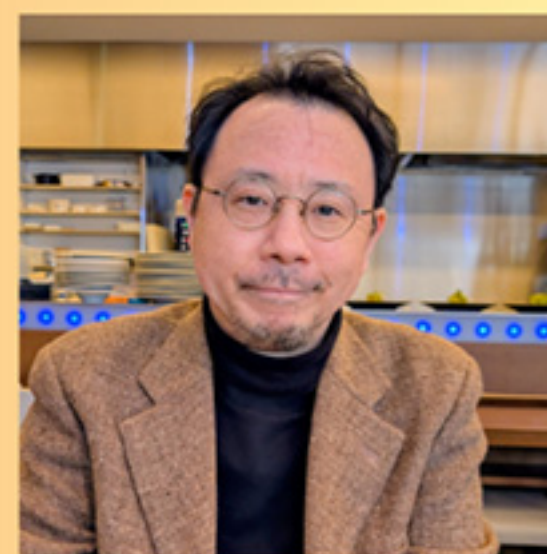
講師：鈴木 耕太

組踊は第二尚氏時代末期に成立した戯曲だが、その作品における時代背景は琉球の三山時代や上演された時代より古い時代としている。すなわち、三山時代であっても中山、特に首里を登場させないことに配慮しているように見えるが、作品を深く読むと、作品の至る所に首里を読み解くことができる。今回はいくつかの作品から首里が描かれていることを取り上げ、紹介したい。

性表現とジェンダー：日活ロマンポルノを中心に

10.16 fri

ポルノ文化は常に異性愛男性の価値観に支配されてきた。
ただ、全部がそうなんですか？
ここであえて問います。ポルノ映画は全部「わいせつ」で「女性蔑視」なのですか？
ここでは、ジェンダー美術史の観点から「日活ロマン・ポルノ」および「同裁判」を例に、作り手たちが新しい性表現／規制とどのように格闘し、性表現をどう変えていったのかを見ていきたい。



講師：千葉 慶

10.23 fri

ルネッサンスなき芸術史？——美術史学以前



講師：喜屋 武 盛也

哲学者ヘーゲルは「ルネッサンス」を知りませんでした。でもそれは単純な欠落とは言えません。ルネッサンスという歴史概念が定着するよりも前に芸術哲学を講じた彼の眼には、この語に親しんでいる私たちには見えにくいものが見えていたかもしれないのです。この回では、美術史学の「外部」にあるヘーゲルの思考や芸術観を手がかりに、美術史という知がいかに関与されてきたかを問い直してみたいと思います。

会場 沖縄県立芸術大学 当蔵キャンパス
一般教育棟3階 301教室

時間 18:30-20:00

-お申込はこちらから-

-お問い合わせ-



芸術学専攻学科室
tel:098-882-5070
mail:geijutsu@okigei.ac.jp

オンデマンド配信有り。配信のみのお申込も可